

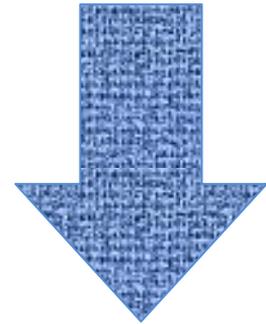
羽衣学園 ソーシャルメディアガイドライン

～みんなの安全はみんなで守ろう！

ソーシャルメディアとうまくつきあおう！！～

高校生になって、皆さんには楽しみがたくさんあると思います。また、行動範囲も中学より広がり、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどのインターネットの利用も増えることと思います。楽しく大

切な高校生活を、無駄にせず、後で後悔しないためにも、ここでは、インターネット利用について、特に注意して欲しいことをお知らせします。



ソーシャルメディアを使うなら、発信者としての自覚と責任を持ち、法令・規範を守りましょう。

1 インターネットは世界に広がる可能性がある！！

世界中で日本はケータイやスマートフォンを使いインターネットでたくさんのことができる国のひとつです。日記やブログを書いて自分の気持ちや考えを表現したり、「音楽」、「写真」、「動画」、「小説」など自分の作品をのせたりと、ケータイやスマートフォンからさまざまなことができますが、そうやってひとりひとりが発信した内容には、ケータイだけではなくパソコンから見る（読む、聴く）ことができるものもたくさんあります。そのため、日本ほどケータイやスマートフォンが普及していない国々からでも簡単にアクセスが可能です。ケータイやスマートフォンを上手に活用する方法を身につければ、



世界の人々とのコミュニケーションできるという

大きな可能性も開かれます。本校でも国内だけでなくアジアから欧米、オーストラリアまで多くの国の人々と交流しています。

「現実社会でも同様、公共の場におけるデジタル機器の利用ルールやマナーを守りましょう。」

（マナーモード指示を守る、「歩きスマートフォン」や「音楽を聴きながらの自転車走行」をしないなど）

2 インターネットで発信した情報は消えない！！

毎日の生活の中で思ったことを、自分のメモ風に気軽に発信できる SNS（ソーシャルネットワークサービス）。最近では短文のつぶやきを投稿できるサイトを使う人や動画や写真をアップする人も増えてきましたが、いずれも常に「誰かに見られている・読まれている」ことを意識しなければいけません。

それなのに、飲酒や喫煙などを「大人びてカッコイイこと」のように発信する人もいれば、万引きやカンニングなどを自慢げに発信する人もいます。これらはそもそもやってはいけないことですから、そのような情報を発信した結果、**停学処分や大会・試合への出場停止処分**といった、取り返しがつかない事態を招いてしまっています。

本当は“グラスを持って写真を撮っただけ”だとしても「飲んだ」と書いてしまえばアウト、「飲んだ」と書かなくても、このような写真があれば必ず誤解されるでしょう。

リアルなつぶやきは、あまりの気軽さに「言わなければよかった」と後悔することをうっかり書いてしまいがち。後になって投稿を削除したとしても、簡単にコピーや転載ができるので、

完全に消すことはできません。また、情報を完全に消すことができないために、このような投稿がいつまでもインターネット上に残り、将来の自分にとって不利になることがあります。「他人に迷惑をかけること」「他人に嫌な思いをさせること」を書かないのがインターネットのお行儀（モラル）ですが、「自分がダメージを受けること」にならないよう気をつけるのも、重要なポイントなのです。

「次のような情報（文字情報だけでなく写真や動画も含む）を発信してはいけません。」



- ・他者を**中傷**する、または**侮辱**するような情報
- ・人種、思想、信条等を差別、あるいは**差別を助長**させる情報
- ・**違法**、もしくは**不当**な情報、またはそれらの行為をあおる情報

（未成年者による**インターネット選挙活動**も違法行為にあたるため注意が必要です）

- ・公共ルールや**マナーに反する行為**をアピールするような情報

3 個人情報は公開しない！！

ケータイやスマートフォンがあれば、いつでもツイッターやブログ、SNSなどにつながります。友だちだけでなく実際には会ったことのない人とも、楽しく情報交換をすることができるでしょう。しかし、なかには悪意を持って接してくる人もいます。不用意な書き込みをしたために、**誹謗中傷**されたり、**脅迫**を受けたりするような事件も起こっています。

名前、学校名、住所、メールアドレス、自画写真などの個人情報を書き込まないように注意してください。また、友達しか見ないと思っても、その他の人に知られたら困るようなことは書き込んではいけません。一度インターネットに流出した個人情報は、取り返せませんし、半永久的にインターネット上に残ってしまいます。また、バラバラに載せてある情報であっても、情報の断片をかき集めて個人を特定することも可能ですので、友人関係、自分の行動の公開などにも注意が必要です。

「自分はもちろん、友人・知人の個人情報に関する書き込みも行わないよう気をつけましょう。」

4 責任をもって使おう！！

インターネットは不特定多数の人たちが利用する「**公共のメディア**」です。テレビやラジオ、新聞や雑誌と同じメディアなのですから、ニュースキャスターやコメンテーターや記者と同様、ひとつひとつの発言に**情報発信者としての責任**がともないます。それは友だちの日記へのコメントであっても、例外ではありません。友だちあるいは特定の知人に向けて話している感覚で気軽に書き込みがちですが、よく考えればたくさんの方が読んでいることに気付くはずですよ。

インターネットに書き込むときは必ず、言葉のひとつひとつに発信者としての責任があることを思い出してください。 ※**補足1**と**補足2** 参照

「自分以外の人の写った写真や情報を発信する際は、あらかじめ**その人に許可を得ましょう。」**

(許可を得る前に、インターネットに公開してもいい内容かどうか判断する必要があります)

5 ゲーム、インターネットサーフィン（動画）、SNSに依存しない！！

ケータイ・スマホ依存やインターネット依存という言葉聞いたことはありませんか。ケータイ・スマートフォンやパソコンが手元にないとひどく不安になったり、四六時中、インターネットやゲーム、メッセージアプリなどに没頭しすぎて自分では歯止めがきかなくなったりする状態をいいます。睡眠不足が生じたり、インターネット以外での対面のコミュニケーション能力が低下したり、日常生活に支障をきたす例も見られます。

スマートフォンは、ケータイとパソコンの両方の機能を備えているため、あなたが上手に活用すれば、生活や学習に役立てることができます。しかし、スマートフォンを優先しすぎるあまり、あなたがスマートフォンに支配されてしまっているような状況に陥ってはいけません。

「依存しないように次のことを心がけましょう。」

例えば…



- ・家族、友だち、先生などとの、リアルなコミュニケーションを大切にしましょう。
- ・食事、宿題、登下校など、自分のやるべきことを優先しましょう。
- ・使っていないときは手から離しましょう。（例：食事中・入浴中は部屋に置いておく）
- ・使わない時間帯を設けましょう。（例：勉強中・就寝中は電源を切る）

※勉強中は勉強に集中！！ 睡眠をしっかりとして心身共に健康で！！

6 セキュリティにも注意しよう！！

スマートフォンのシステムはパソコンと同じですから、当然、コンピュータ・ウィルスに感染する危険があります。ウィルスに感染してしまうとスマートフォンが使えなくなるというだけでなく、アドレス帳の内容やメールの履歴、保存されていた写真などのデータが壊されたり勝手に流されたり、あるいはIDやパスワードが盗まれて悪用されてしまったりするなどの被害を受ける可能性があります。場合によっては、スマートフォンをのっとられ、悪い人に利用されてしまうかもしれません。利用している人が気づかないうちに侵入してくる場合もあります。

「ウィルスの感染被害に遭わないために、次のことを実行しましょう。」

- ・セキュリティ対策ソフトを導入しましょう。
- ・パターンファイル（ウィルスを定義するファイル）を常に最新の状態にしましょう。
- ・送信者に心当たりがないメール（含：添付ファイル）は開かずに削除しましょう。
- ・怪しげなWebサイトやコンテンツにアクセスしない、利用しないようにしましょう。
- ・アプリケーションは信頼できるものだけを利用するようにしましょう。



インターネットの利用でトラブルに巻き込まれそうになったら、自分ひとりで解決しようとせず、まわりの大人（先生や保護者）にすぐに相談しましょう。

せっかくの楽しい高校生活を台無しにしないためにも、以上のようなことに注意して賢くインターネットを利用しましょう。

このガイドラインは、一人だけが守ってもみんなの安全は保てません。羽衣学園の生徒および関係者全員が、この内容に準じた利用を心がけましょう。

※補足1【写真や動画をあげるときは 安易にしない】

写真で伝えたいときには、メール、掲示板、プロフィール、ブログなど、いくつかの方法がありますが、いずれにしても写真の中身に気を付けましょう。たとえ一緒に写っている友だちに許可をもらっていたとしても、一度送ったり載せたりした写真は、取り戻すことも無かったことにすることもできません。データは簡単にコピーや転送・転載ができるのです。十分に気を付けましょう。

また、レストランで料理を写している人をよく見かけますが、本来、許可なく撮影するのはマナーに反する行為です。お店に並んでいる商品を無断で写そうとして、店員さんに叱られた経験を持つ人もいます。「撮ってもいいですか？」「インターネットで紹介してもいいですか？」とお店の人に声をかける、シャッター音が耳障りになるような静かな場所では遠慮するなどの心づかいが大切です。

動画をメールで送ることはあまりないと思いますが、送るときは写真を送るときと同じかそれ以上に中身に気を付けましょう。動画は写真よりもさらに様子や状況が相手に伝わりやすくなるので、良い内容なら問題ないですが、悪い内容なら取り返しのつかないことになってしまいます。自分たちが映した動画ではなくても一緒です。インターネットで見つけた残虐な動画を友だちに送ってしまい、それを見た子がショックで精神的なダメージを負ってしまったケースも実際にあります。くれぐれも、注意してください。

また、若い人たちに人気の動画投稿サイトに投稿するときにも、映っている人はみんな投稿をOKしているのか、投稿しても問題ない内容なのか、誰かに迷惑をかけたり嫌な思いをさせたりしないか、著作権などの権利は大丈夫なのか、といったことを十分に考えてから投稿しましょう。

※補足2【プライバシー侵害などの権利侵害】

プライバシー権や肖像権についても知識を持ちましょう。プライバシー権とは、人の住所や氏名など他人に知られたくない私生活上の事を、勝手に明らかにされない権利のことです。また、肖像権とは、人の顔や全身などの姿を勝手に撮影されない、または撮影されたものを公開されない権利のことです。他人のプライバシーに関わる情報や、顔写真などをその人の許可なく勝手に公開してはいけません。また、芸能人やスポーツ選手等の有名人は、パブリシティ権という権利の保護を受ける場合もありますので、たとえ自分では応援・宣伝してあげるつもりでも、相手にとっては迷惑だったり、権利を侵害したりしていることもあり得ますので、その点も注意しましょう。